

人はみな平等、だれもが安心してくらせる村に
私の信条

村民の声、女性の願い しっかり受けとめ がんばります



私が村政にいとむのは「誰もが等しく安心してくらせるように」この思いからです。共産党議員団は村民のくらしと安全にかけがえない役割をはたしてきました。皆様から教えていただきながら力いっぱいがんばります。ご支援をよろしく願います。

議会に出していただけたら

必ずこの仕事をします

願いを届け、議会でしっかり発言します

議員の仕事は、住民の願いを届けること。皆さんの声をよく聞いて、必ず村政に届けます。

「まじごと相談に力つくします

地域の要望、くらしや福祉の願い、住民の困りごとなどの解決に力いっぱいとりくみます。

議会の様子を知らせます

税金の使い方をチェックし、村政と議会の様子を「明るい東海」で定期的に報告します。

○退職してこれからと思っていたのに、年金は目減りするばかり、これ以上の負担増は絶対にしないほしい。
○選ばれたら“偉くなった”と勘違いして、外遊やムダ使いを平然とやっている議員は許せない。
(アンケートより)

○4時間パートで働いているが、自分のことより若い人の将来が心配だ。職場条件と安給料の改善が望まれる。

○住民税、ガソリン代、値上げラッシュでやっていけない、官のムダをなくし増税・値上げをやめる政治を願う。
○外から見れば財政のある村なのだから、村営の安い老人ホームなど福祉にもっと力を入れて下さい。



産廃焼却場ストップ

「私たちの暮らしを脅かさないでほしい」「農産物への風評がこわい」等々...村民だれもが心配しています。

産廃焼却施設に反対する住民組織が活発に活動しています。日本共産党は、みなさんと力あわせて建設阻止に全力をつくします。

命と環境をまもるために

いつも笑顔で頑張る人

小室博義(舟石川在住)

いつも笑顔でがんばる川崎さんに私も励まされています。障害児の問題にまっすぐ向き合い、他人の苦しみも我がこととして真剣にとりくむ川崎さん、これからは村民全体のために力をつくしてくださるよう期待します。

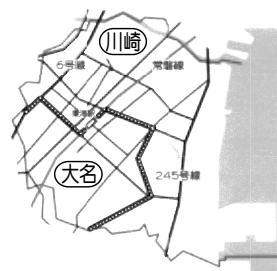


つねに一生懸命な川崎さん

県議会議員 大内久美子

川崎さんは県立盲学校のPTA会長をつとめ、私も一緒に幼稚部設置や重度障害者施設の拡充にとりくみ実現させることができました。弱者に冷たい政治がおしよせるとき、3児の母として情に厚く一生懸命にがんばる川崎さんは、必ずくらし・福祉を守る役割をはたします。

川崎あつ子の
主な活動地域



党・村委員長 川崎あつ子

プロフィール 1953年十王町生まれ、高萩高校卒業後、日立電線日高工場に勤務。結婚を期に1976年から東海村へ。県立盲学校PTA会長、東海村男女共同参画条例検討委員、東海村まちづくり委員会福祉部会委員などを歴任。県議選・衆院選に立候補。現在、党・村委員長。家族は夫、3女、義母。白方在住

憲法を大切に くらしと平和をまもる 日本共産党

明るい東海

2008年1月号外 発行/日本共産党東海村委員会
電話 282-1016 Fax 282-9031

日本共産党の政策をご紹介します。ご感想やご意見をお寄せください。北部地区委員会のホームページもぜひご覧ください。http://www.icp-net.jp/ibahoku/

くらし・福祉、安全をまもる



みなさんと力あわせて

日本共産党は村議団を先頭に、お寄せいただいた切実な願い実現のため、みなさんと力をあわせて全力をつくしてきました。

子育て支援、

介護保険利用軽減を実現

お母さんたちの願いで子どもの医療費無料化を来年の4月から小学生にまで拡大することができました。介護保険利用の負担軽減のため、新たに通所介護と通所リハビリ利用者への食費の助成、障害者福祉サービス利用への70%助成を実現しました。

原発の危険から

一貫して村民の安全に全力

村議会に共産党が議席を獲得して44年、原発などのトラブルやどんな小さな事故についても現地調査等をおこない、厳重な安全対策を求めるなど、一貫して原発の危険から村民の安全確保に全力でがんばってきました。

他会派にもよびかけ

議案提出権を行使して

共産党村議団は、他会派にもよびかけ、積極的に議案提出権を使い、この4年間に提出した議案は10件になります。議決されたものは次のとおりです。
緊急地域雇用創出特別交付金制度の存続と改善を求める意見書(全会一致で議決)
産業廃棄物(焼却)施設設置に関する意見書(全会一致で議決)
障害者福祉充実に関する意見書(修正議決)
就学前医療費助成の所得制限を撤廃する決議(全会一致で議決)

くらしが大変なとき 問われる議員のあり方

国民に負担を押し付ける自民・公明政治で、くらしが本当に大変になっています。こんなときだから、村民の立場に立って働く議員が求められます。

住民税増税

定率減税の廃止等で住民税が大幅に増税になりました。この条例案に共産党村議団は反対しました。国の政策になんでも賛成では村民のくらしは守れません。

議員の海外視察

村議会の特別委員会がおこなっている海外視察は多くの自治体で中止しています。共産党村議団は海外視察に参加せず、中止を強く求めています。

村民税増税(実質4億5000万円)分を村民のくらし支援に
— 9月26日、党村議団が村長に申し入れ—
1、子どもの医療費無料制度の年齢拡大
2、介護保険の利用料助成の拡大
3、高齢者医療制度による負担軽減支援

日本共産党のお約束

- 原子力発電所の震災対策、常設消防隊の整備・強化など安全対策の強化
- 子どもの医療費無料制度を義務教育終了まで拡大
- 「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を要求
- 家族農業が営める施策と新規就農者への支援強化
- 所得の少ない世帯へ灯油代の助成



党・村委員長 川崎あつ子
村議会議員 大名みえ子



フレッシュ女性コンビ 日本共産党 2人の議員を

これまで日本共産党の2議席は、行政をチエックし、村民のくらし・安全を守る大きな役割を果たしてきました。議案提出権と議会運営委員会への参加は2議席によって得られます。フレッシュな女性コンビは、きめ細かい目線で、地域の願いやくらしの声を届け、村政に新しい活気をつくります。皆様のご支援を心からお願いします。
元村議会議員 佐藤利彦